



北村 あや子 区政ニュース

放置自転車対策を強化～安全で美しい道路環境へ

放置自転車は歩行者、目の不自由な方や車いすの方、ベビーカー等の通行の妨げになります。また、強風で放置自転車が倒れるなど、歩行者にけがをさせる危険性も。

荒川区では今年度から、放置自転車対策が強化されます。昨年度まで区の職員やシルバー人材センターで行っていた業務を芝園開発株式会社に一括して委託することになり



放置自転車撤去事業(荒川区事務事業シートより)

(単位: 千円)			
予算・決算額等の推移		5年度	6年度
予算額		103,311	110,512
決算額(6年度は見込み)		98,335	110,512
実績の推移	事項名(6年度は見込み)	5年度	6年度
	放置自転車撤去(台数)	3,866	3,866
	返還(台数)	1,806	1,806
	処分(リサイクル等含む)(台数)	180	180
	売却(台数)	1,904	1,904

ました。年間契約金額は 90,767,853 円とのことです。

駅前放置自転車の撤去はこれまで年間で450回行っていましたが、平日日中の撤去回数を大幅に増やし、年間700回行う予定です。また、夜間や土・日曜日の撤去も行い、放置禁止区域外でも、通報があれば速やかに対応することです。放置自転車の対策強化とともに、自転車置き場の整備も必要ではないかと思います。ご意見をお寄せください。

放置自転車対策コールセンター(24 時間対応):03-4530-3832

シルバー人材センターの仕事が突然終了

放置自転車対策業務が3月31日で終了と会員さんに説明があったのは1月21日。日本共産党区議団控室には複数の会員さんから「どういうことか!」と連絡がありました。

議会に報告はなく、私たちも驚きました。すぐに担当課長に経緯の説明と区が責任をもって対応することを求めました。その後、課長も出席して改めて説明会が開かれ、荒川区議会予算特別委員会でも議論されました。区は4年前から放置自転車業務の民間委託を検討していたようですが、コロナ禍により経済活動が停滞する中で、シルバー人材センターへの影響を避ける必要があると判断し、改善するまで延期していたということです。しかし、会員さんたちへの説明が遅く、十分でなかったことは問題です。



シルバー人材センターは「高齢者が働くことを通じて生きがいを得ると共に、地域社会の活性化に貢献する組織」ですが、多くの会員さんは低い年金と続く物価高騰でシルバーでの収入が生活費の一部となっています。発注元である荒川区の責任は大きい。

芝園開発株式会社が新宿区で人員配置虚偽報告…大丈夫?



荒川区ホームページより

新たな委託先・芝園開発(株)は新宿区で2023年12月に配置人員の虚偽報告をし、不正に委託料を請求していたことが明らかになり、不正受領額(約596万円)の返還、9か月の指名停止処分を受けています。その後、新宿区では委託先をサイカパーキング(株)に変更。虚偽報告は、荒川区で2023年7月、9月に発覚した学童クラブの虚偽報告と構造的に同じです。人員体制も含め、契約通り事業が行われているか確認するよう区に求めました。

発行:日本共産党議員団 TEL:3802-4627

e-mail:arajcp@tcn-catv.ne.jp

<北村あや子事務所>

荒川区西尾久2-4-8-1階 TEL&FAX:3894-6668



街の声

＊宮の前ひろば館を利用した。裸電球(右画像)＋壁紙がはがれている箇所が多々あり“古い”感じが否めない。もう少し手入れはできないものか。

➡荒川区は「ひろば館」を全て廃止する方向で、必要最小限の補修を行っています。ご指摘の通り、“古さ”が際立ちます。ご指摘の点を区の担当部署に伝え、裸電球には笠をつけ、壁紙は補修することになりました。1階は宮の前ひろば館、2～3階の精神障害者地域生活支援センター「アゼリア」が利用している区の建物です。建替えも予定されていますが工期など詳細は未定です。

＊尾久ふれあい館の3階和室入り口の照明が暗いのご指摘があり(区政ニュース No.224 で掲載)、区に対応を求めたところ、足元に人感センサーライトを設置することになりました。改善されます。

＊ふれあい館でモバイルルーターを借りる際、ほかの備品を借りる申請書とは別の申請書提出を求められた。1枚にまとまらないの？

➡借用申請書を取り寄せると、確かに別々。担当部署に伝え、改善を求めました。

入学式・入園式が行われました

幼稚園、小学校、中学校の入園・入学式が行われました。新しい環境で安心して、自分らしく過ごせるように応援しています。保護者のみなさんも子どもたちの新しい環境で疑問に思うこと、不安なこと、ご要望など多々あるのではないのでしょうか。「小1の壁」などの解消は大きな課題です。



また、学校に通う子どもたちと同じように先生方が働きやすい環境整備も必要ではないのでしょうか。ある教員の勤務時間は朝7時から夜21時という実態もあります。改善が必要です。

教材費(一部)無償化、今年度から荒川区で実現

保護者からの強い要望のなかで、日本共産党荒川区議団が議会質問や条例提案などで長年求め続けてきた教材費無償化。荒川区では今年度から教材費(一部)の無償化が実現となりました。

これまで保護者が費用負担していた算数ドリルなどの教材に加えて、修学旅行費や卒業アルバムも保護者の負担がなくなります。ランドセルや体操着、中学校の標準服などは引き続き保護者負担です。義務教育は本来無償です。引き続き保護者負担ゼロを求めてまいります。

就学援助の基準緩和を

教材費無償化にともない、荒川区としては就学援助(経済的理由で就学が困難な家庭に、小・中学校でかかる費用の一部を援助する制度)への支出が減ることとなります。

現在荒川区の就学援助基準は生活保護基準の1.2倍としています。この基準を1.5倍に引き上げ、より広い家庭に援助を行うことも必要ではないのでしょうか。荒川区の予算規模なら十分可能です。ご意見をお寄せください。



裸電球はレトロなインテリア？



入園・入学者数	
区立幼稚園	60
区立小学校	1,356
区立中学校	1,015



日時: 4月18日(金) 18:30~20:00

TEL&FAX: 03-3894-6668 **要予約**

会場: 北村あや子事務所(西尾久2-4-8 1階)

日々の生活、仕事、相続・・・ひとりで悩まずに相談を。
弁護士と北村がお伺いします。生活相談はいつでもどうぞ。

